

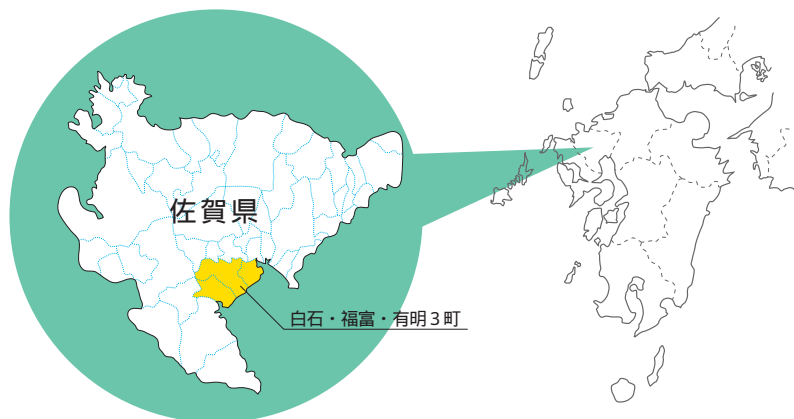
1 位置と地勢

新町は、佐賀県の南西部、佐賀市中心部から25km圏内に位置し、北は六角川を境に大町町、江北町、芦刈町に、西は武雄市、北方町及び塩田町に、南は塩田川を境に鹿島市に接し、東南部は有明海に面しています。

町西方の杵島山系から東方へ広がる広大な白石平野は、古く弥生時代から自然陸化し、中世より現代まで幾多の干拓事業で造成された土地です。特色としては粘質土壌で、米・麦、野菜、施設園芸等の農業好適地帯となっています。

また、六角川や塩田川をはじめとする川は、地域にうるおいを与えながら、宝の海とも言われる有明海に注いでいます。

このように新町全体をみると、山と平野、川と海といった美しく個性豊かな自然が一体として揃っています。



2 気候

年平均気温は16.3（白石 平成14年観測分）で、冬の平坦地は北西の季節風が北部山地を越えて吹き寄せるため寒気が感じられますが、全体としては温暖な気候となっています。

降水量は夏季に多く冬季に少なくなっており、年間総降雨量は1,456mm（白石 平成14年観測分）で佐賀県の平均よりも少ない状況です。

3 面積

新町の面積は99.46km²となり、県全体の約4.1%を占めています。民有地の土地利用状況（平成13年1月1日現在：佐賀県統計年鑑資料）は、田が73.9%、畑が11.3%、宅地が7.5%、山林が5.5%となっています。

4 人口と世帯

平成12年の国勢調査での人口は28,393人となっており、平成2年の30,539人と比べると2,146人（7.0%）の減となっています。

世帯数については、平成2年の7,352世帯が平成12年には7,382世帯に増加しており、1世帯当たりの人口は減少しています。

年齢階層別人口割合と産業別就業人口割合について、平成2年と平成12年の状況を比較すると下表のようになります。

年齢階層別人口割合

	平成2年	平成7年	平成12年
年少人口割合	19.6%	18.1%()	16.4%()
生産年齢人口割合	61.9%	59.5%()	57.9%()
老齢人口割合	18.5%	22.4%()	25.7%()

産業別就業人口割合

	平成2年	平成7年	平成12年
第1次産業従事者割合	38.9%	35.3%()	33.1%()
第2次産業従事者割合	19.5%	20.9%()	20.4%()
第3次産業従事者割合	41.6%	43.8%()	46.5%()

年少人口：0～14歳、生産年齢人口：15～64歳、老齢人口：65歳以上
平成7年、12年の()は、平成2年、7年それぞれとの割合と比較した上昇()・下降()を示す。